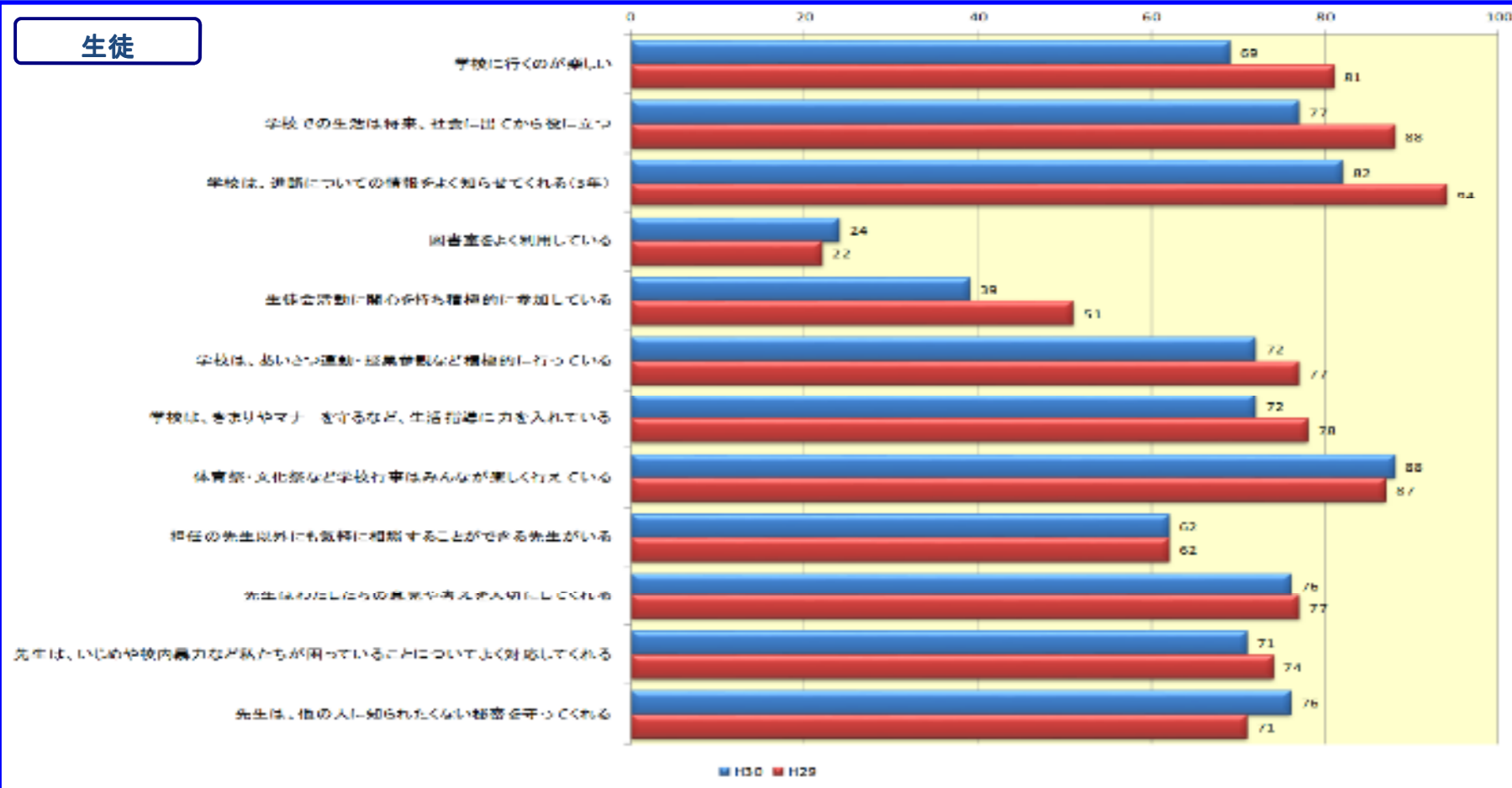


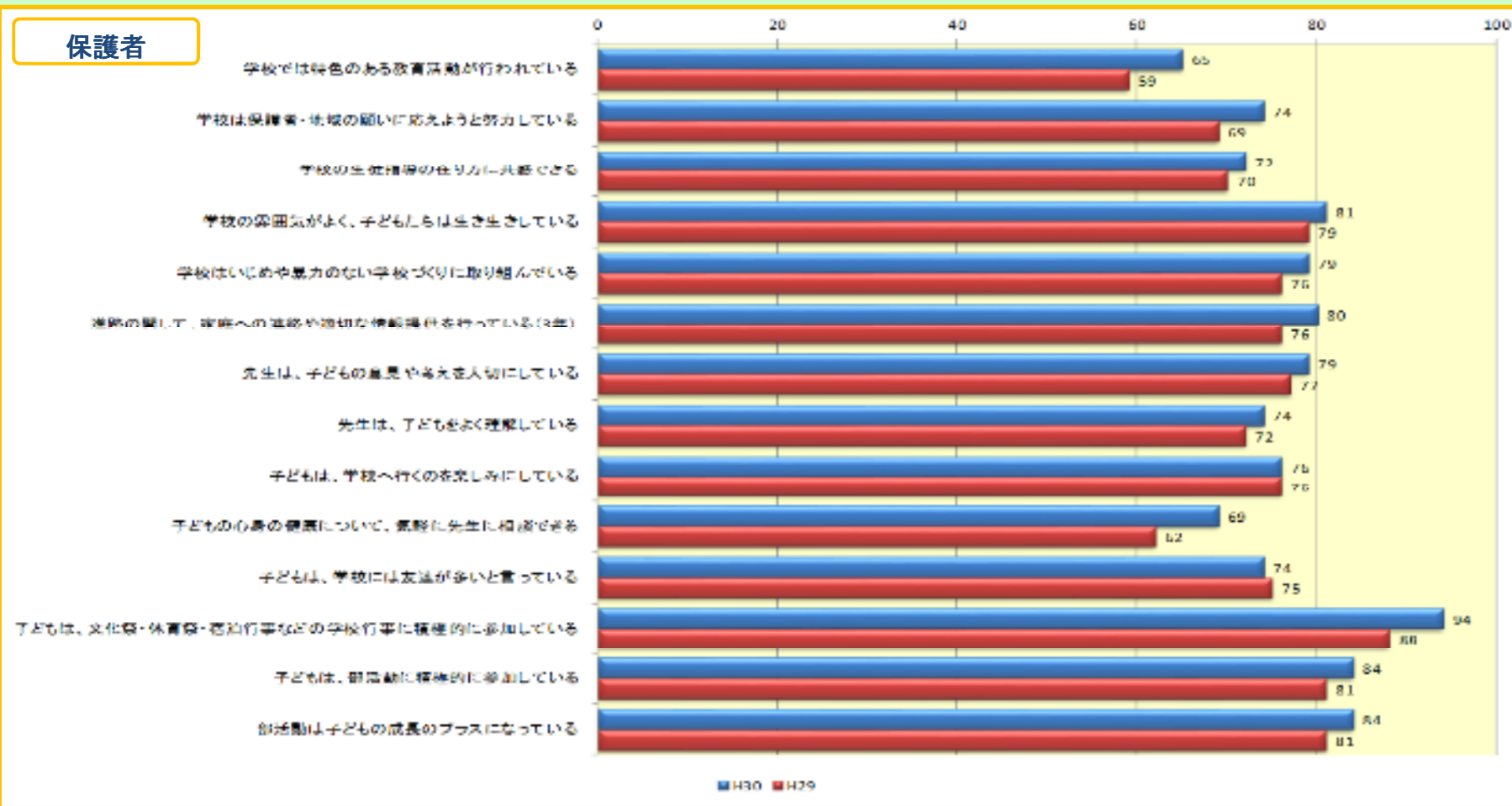
1. 学校生活 生徒指導等

注：グラフの各項目上段が平成30年度、下段が平成29年度を表しています

生徒



保護者



平成30年度 山田中学校学校教育自己診断結果概要

【アンケート実施目的】

子どもたちの学校生活を生き生きとした楽しいものにするため、学校の教育活動や組織について生徒や保護者の皆さまからの調査結果をもとに今後の学校改善の資料とする。

【アンケート実施日】平成30年12月

【アンケート回収率】

・生徒調査 91% 保護者 68%

【アンケート集計及びグラフの表示】

・回答項目の「A：よくあてはまる」「B：ややあてはまる」を肯定的回答としてグラフ化して表示しています。

○学校生活、生徒指導等に関する項目（生徒12項目・保護者14項目）について、昨年度と比較すると、生徒調査では3項目で肯定的な回答の割合が上回った。「体育祭・文化祭など学校行事はみんなが楽しく行えている（88%）」（昨年度比+1）「先生は、他の人に知られたい秘密を守ってくれる（76%）」（昨年度比+5）「図書室をよく利用している（24%）」（昨年度比+2）が上昇した。生徒会が中心となって行っている、「体育祭や文化祭等の学校行事が、楽しく行えている（87%）」ことは、良い結果と思われる。保護者調査では12項目で昨年を上回った。昨年度大幅に減少した「子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる」（昨年度比+6）の項目が上昇した。全体的に、昨年度肯定的な回答が減少傾向にあった各項目が上昇傾向に変わった。

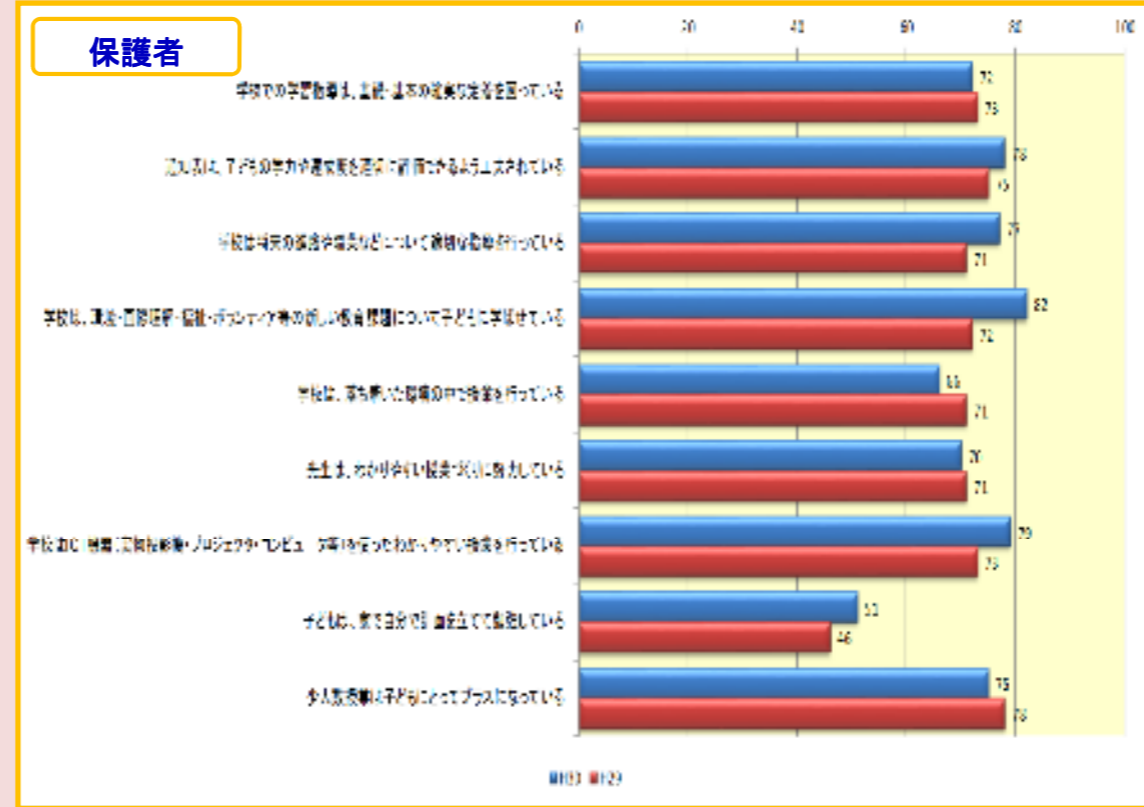
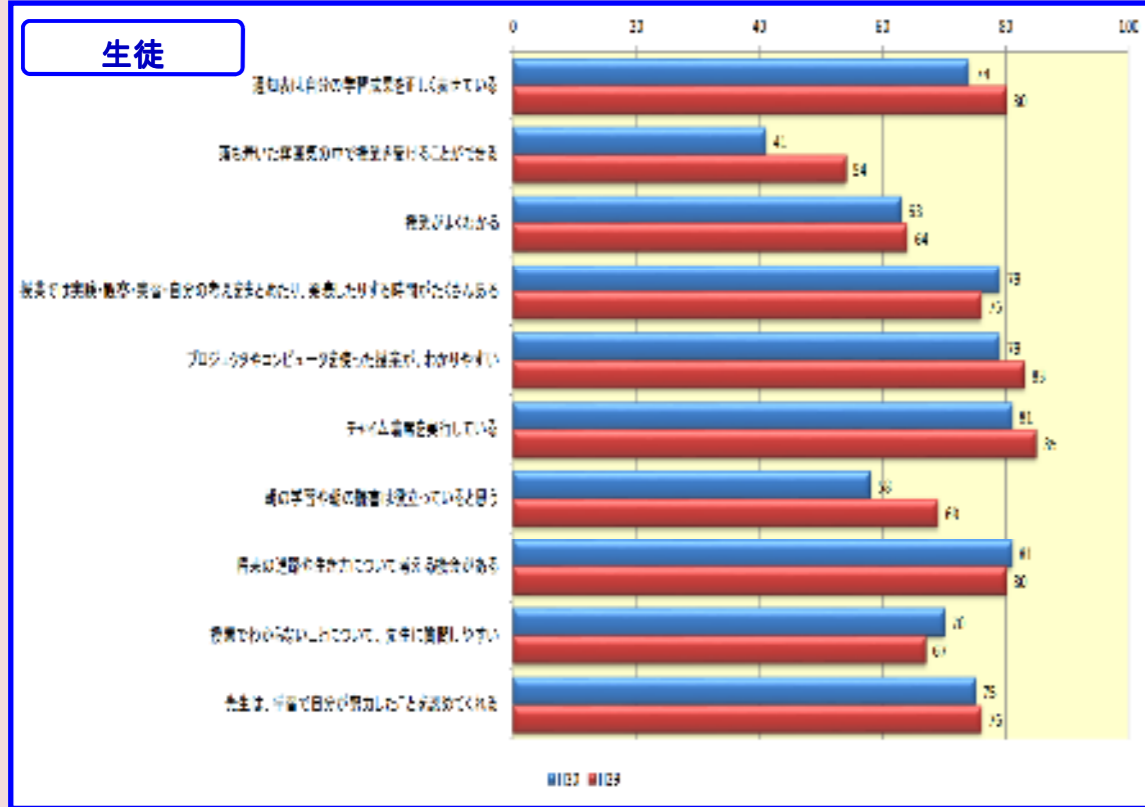
○最も肯定的な回答が高かった項目は、生徒調査では「文化祭・体育祭など学校行事はみんなが楽しく行えている（88%）」（昨年度比+1）、保護者調査でも、「子どもは、文化祭・体育祭・宿泊行事などの学校行事に積極的に参加している（94%）」（昨年度比+6）であった。

○生徒調査では「図書室をよく利用している（24%）」と肯定的な回答をした生徒の割合が低かったが、学校図書館司書が配属され今年で3年目となり、校区小学校とも連携し、図書室を利用しやすいように工夫をしたり、授業での活用の増加や読書活動の計画的な取組みをしていることなどから3年連続（28年度比+9、27年度比+13）で上昇した原因と考えられる。また、「先生は、他の人に知られたい秘密を守ってくれる（76%）」（昨年度比+5）においては、学級活動、クラブ活動などの日々の教育活動や、教育相談などで信頼関係がよい方向に向かっていることが伺える。しかし、「進路についての情報をよく知らせてくれる（3年生）（82%）」（昨年度比-12）の結果からは、入試システムの変更や高校の詳細などの情報が生徒に伝わりづらかったということや、「学校に行くのが楽しい（69%）」（昨年度比-12）などの課題点もみられた。

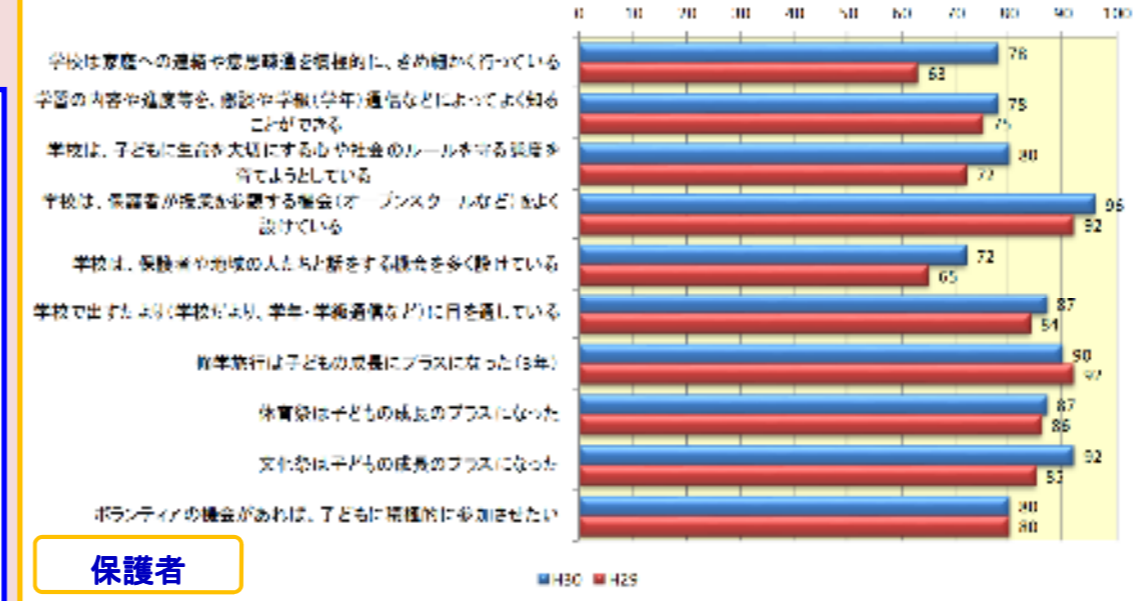
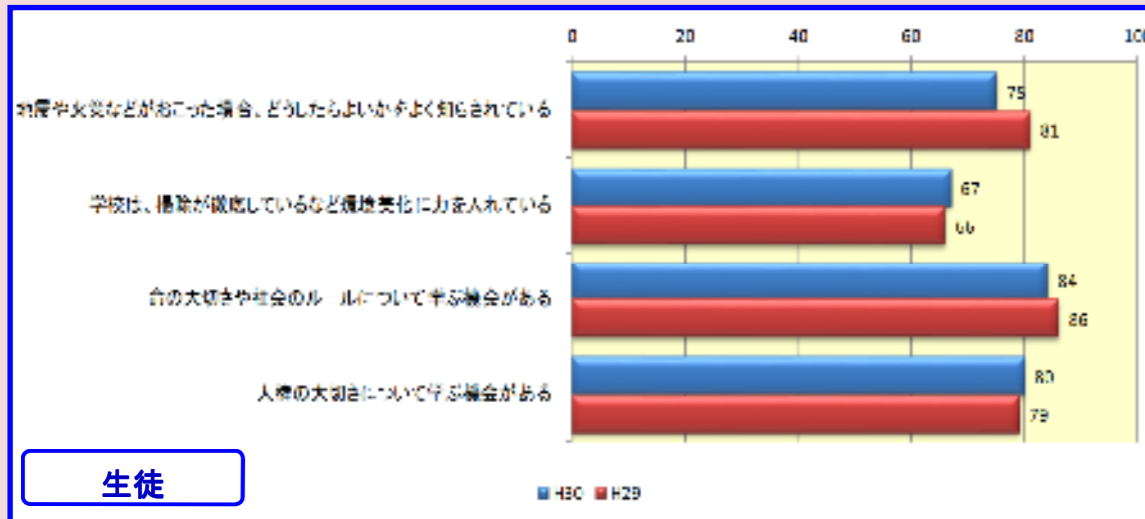
○保護者調査では、14項目中12項目で肯定的な回答が昨年度を上回った。昨年度よりも全体的に信頼をいただいていると言えるが、「学校では特色のある教育活動が行われている（65%）」（昨年度比+6）、「子どもの心身の健康について気軽に先生に相談できる（69%）」（昨年度比+7）は肯定的な回答の割合が7割を下回っており課題がみられた。

2. 学習指導

注：グラフの各項目上段が平成30年度、下段が平成29年度を表しています



3. 学校全般・その他



4. まとめ

学習指導・生徒指導を大きな柱とし、特に主体的・対話的で深い学びの実現をめざした授業改善を中心に教育活動を進めているところです。今回の学校教育自己診断では、生徒調査で8項目、保護者調査で26項目が昨年度と比較して肯定的な回答が上昇しました。そのほとんどの項目が70%以上の値であり、ある程度理解は得られていると考えられます。しかし、数値の低い項目もあり、課題として重点的に改善が必要などところもみられます。今後は、80%以上の肯定的な回答が安定して得られるように今回の結果をもとに、次のような方針で取り組みを進めていきます。

【学習指導】 全ての教科で主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、グループ学習を取り入れた授業を展開していますが、授業内容の質の向上をさらに追求し、定着と効果の増大を目指していきます。また、そのための環境も整えていきます。家庭学習を中心とした自

習力の向上についても、さらに保護者の協力を得ながら進めていきます。

【生徒指導】 人権の大切さを尊重し、自尊感情を高めながら取り組みます。一人ひとりに寄り添いながら教育相談などを効果的に行い、カウンセリングマインドをもって個に応じた対応を継続します。いじめのない学校の実現に向け、見守り活動を中心にして些細な変化も見逃さないよう対応します。また、授業規律、規範意識の向上などにも努めていきます。

【その他】 「一人ひとりが大切にされ、つながり・学び合い、確かな力を育む学びの創造」のもと、授業改善も含めて校区小学校ともさらに連携を深め、9年間を見通した教育活動の内容を、保護者や地域の方の理解と協力がさらに得られるようわかりやすく発信していきます。

○学習指導に関する項目について、昨年度と比べると、生徒調査では12項目中4項目で肯定的な回答の割合が上昇しており、「授業では、実験・観察・実習・自分の考えをまとめたり、発表したりする時間がたくさんある(79%)」(昨年度比+3)「授業でわからないことについて、先生に質問しやすい(70%)」(昨年度比+3)と授業に関する項目が上昇した。保護者調査では9項目中5項目で肯定的な回答が上昇しており、「環境・国際理解・福祉・ボランティア等の新しい教育課題について学ばせている(82%)」(昨年度比+10)「子どもに生命を大切にすることや社会のルールを守る態度を育てようとしている(80%)」(昨年度比+8)の項目の上昇が大きい。

○生徒調査で肯定的な回答が最も減少した項目は「落ち着いた雰囲気の中で授業を受けることができる(41%)」(昨年度比-13)で、静かな環境でグループ学習ができていない、声のレベルが大きいこと等を感じている生徒が多いことが伺え課題がみられる。

○生徒、保護者とも肯定的な回答が7割に達していない項目がそれぞれ3項目、1項目あり課題がみられた。

○学校全般・その他に関する項目について、昨年度と比較すると、保護者調査で10項目中9項目で昨年度を上回った。

○生徒調査「掃除が徹底しているなど環境美化に力を入れている(67%)」は昨年度を1ポイント上回ったが、美化意識向上をめざした清掃活動や環境整備等、学校全体でさらに取り組む必要がある。

○保護者調査「学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に、きめ細かく行っている(78%)」(昨年度比+15)「学校は、保護者や地域の人士と話しをする機会を多く設けている(72%)」(昨年度比+7)と肯定的な回答が大きく上昇した。今後も継続して家庭や地域に開かれ連携した学校づくりを進めていく必要がある。

○保護者調査「文化祭は子どもの成長にプラスになった(92%)」(昨年度比+7)であり、文化祭の取組内容等に対して多くの理解を得た。

○保護者調査「子どもは、家で自分で計画を立てて勉強している」は昨年度より上昇しているが、51%と低い値である。家庭での自主学習が計画的にできる取組みが一層必要である。